

4. 実践工法

(1)改良積土のう工法

①必要資機材の確認（1分隊あたり）

完成土のう40袋、シート1枚、剣スコップ5本

②作業工程等

分隊長は、水防工法訓練で作成した土のうの運搬経路を指示する。人員の配置、作業手順、作業の安全確保について指示する。資材や人員が不足の場合は、小隊長に報告し指示を受ける。

③任務終了後

人員把握を行い待機させる。その後、小隊長に人員及び作業の終了を報告する。

(2)シート張り工法

①必要資機材の確認（1分隊あたり）

完成土のう24袋、シート1枚、身体確保用ロープ1本、救命ジャケット1着、PPロープ1巻、鎌1本、木杭5本、かけや1本

②作業工程等

分隊長は、水防工法訓練で作成した土のうの運搬経路を指示する。人員の配置、作業手順、作業の安全確保について指示する。資材や人員が不足の場合は、小隊長に報告し指示を受ける。

③任務終了後

人員把握を行い待機させる。その後、小隊長に人員及び作業の終了を報告する。

※具体的な指示内容等については、訓練当日の工法説明の際に指導員から説明する。

※警戒巡視員（本部付分団長）から退避命令（笛による合図）があった場合、即時作業を中断し、分隊長は安全な場所に集合させること。

5. 終了報告

分隊長は、水防工法が完了したのを確認した後、小隊長に終了報告を行う。

【分隊長の終了報告】

・第●分隊、総員●名、事故なし、現在員●名、水防工法訓練終了しました。

全ての分隊から終了報告を受けた後、小隊長は小隊を整え、総指揮者に終了報告を行う。

【小隊長の終了報告】

・第●小隊、総員26名、事故なし、現在員26名、水防工法訓練終了しました。